

歯科衛生学科カリキュラムポリシー

歯科衛生学科では、本校の「建学の精神」を実現するために、医療人としての自覚と倫理観を持ち、生涯を通じた口腔の健康管理、高齢者や障がい者への専門的口腔ケアを実践できる歯科衛生士を養成すべく、学年進行に沿って体系的、順序的なカリキュラムを設定している。

- ・ 歯科衛生士に関する専門的知識、技術、コミュニケーション能力を身につける基礎科目
- ・ 歯科医療専門職として必要な基礎的知識、技術を修得できる基礎・専門基礎科目
- ・ 実践的技術、自ら問題解決できる探求心、向上心を身につける専門科目
- ・ チーム医療の一員として多職種と協力、協働できる能力を養う臨床・臨地実習
- ・ カリキュラムの体系に基づき、科目間の関連や学修の段階、順序等をわかりやすくシラバスに明示し、成績は筆記試験、レポート、出席日数、客観的臨床能力試験によって適切に評価する。

①基礎分野科目

思いやりの心と豊かな感性や教養を持った医療人を養う。

「社会学」「人間関係とコミュニケーション」で思いやりの心と豊かな人間性や教養を身につける。また、「医療英語」を学びグローバルなコミュニケーション能力を身につけた人材を育成することを目指す。

②専門基礎分野科目

高度化及び専門化する口腔医学に対応するための基礎医学を学ぶ。

「口腔解剖、組織学」で口腔とその周囲組織の構造と機能に関する基本的知識を修得し、顔面、口腔及び周囲組織の成り立ちを理解する。

「病理学、口腔病理学」で病気の本態、原因や成り立ちを理解し、病気の診断、治療並びに予防に関する知識を修得する。

③専門分野科目

歯科衛生士に必要な専門的知識・技術を学ぶ。

「歯科衛生士概論」で歯科衛生士としての職業を理解し、人々の健康づくりを支援するために保健医療人としての基礎的態及び論理的思考法の基礎を修得する。

「歯科予防処置論」で健康寿命の延伸に向けた歯・口腔の健康維持、向上のために必要な知識、技術を修得し歯科疾患の特徴について理解する。

「歯科診療補助論」で歯科医師による歯科診療が安全かつ円滑に行われるように臨床の流れを把握し、器具器材、薬品について理解し技術を修得する。

「歯科保健指導論」で年代別の特徴を理解し行動変容を促す指導法を修得し、コミュニケーション能力の向上を目指す。